

1 単元名 第一次世界大戦とアジア・日本

2 目 標

- 第一次世界大戦の原因や概要の理解を基に、帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題について関心をもって意欲的に調べようとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 第一次世界大戦中に日本では資本主義が急激に発達したことや、第一次世界大戦とシベリア出兵、米騒動との関係を考えることができる。(社会的な思考・判断)
- 第一次世界大戦中からアジアの人々が民族自決に目覚め、列強各国と戦った様子を資料や地図を基に読み取り、まとめることができる。(資料活用の技能・表現)
- 第一次世界大戦後につくられたベルサイユ体制は、戦勝国の利害を優先していたことを理解することができる。(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

本単元は、第一次世界大戦の原因や経過及び結果の学習を土台とし、戦後の国際情勢及びアジアでの独立運動や日本国内でのデモクラシーの動きを学ぶものである。具体的には、世界大戦前のヨーロッパ各国の状態を押さえた上で、バルカン半島での事件や中国に対する日本の行動を学ぶ。また、戦後に関してはウィルソン大統領の提唱により成立した国際連盟を中心としたベルサイユ体制の確立や、朝鮮・中国の日本に対する独立運動や抵抗運動、インドのイギリスに対する運動なども学ぶ。また、国内では大正デモクラシーにより、本格的な政党政治の確立と社会運動の高まりを学ぶ単元である。

NO	質 問 項 目	回 答
1	歴史的事象についての自分の考えを書くことは得意ですか。	得意7名 やや得意6名 あまり得意でない9名、不得意6名
2	資料から読み取ったことを文章で表現するのは得意ですか。	得意7名 やや得意6名 あまり得意でない12名 不得意3名
3	友達の考えを聴き、自分の考えを見直すことができますか。	ある13名 ややある8名 あまりない5名、全くない2名

意識調査の結果から、生徒は歴史的事象について自分の考えをもち、書くことが得意であるとは言えない。また、資料から見えるものだけでなく、見えないものを読み取る力もまだ十分に身に付いていない。友達との学び合いから自分の見方や考え方を見直す機会をつくることで、歴史的事象への興味・関心を高めることができるのではないかと考えられる。

そこで、言語活動を充実させることで個人からグループという学習形態を取り入れて学習していく。第一次世界大戦からベルサイユ体制の確立までを一つの流れとして押さえ、文章や図で表現するとともに意見交換の場を取り入れていく。また、戦後のアジア独立運動に関しては、日清・日露戦争後の韓国と中国、インドの様子とを比較することで反植民地運動の独自性や共通性をとらえることができるようにする。そして、列強をはじめとする日本と植民地化された国の両方の立場からアジアの民族運動を考えることで、社会的事象が時代背景や世界的視野から見ることを通して多面的・多角的な見方ができることに気付かせたい。

4 本単元での言語活動の充実

本単元では、個人で自分の考えをつくり、グループでの意見交換を通して、社会的事象についての多面的・多角的な見方があることを認識させる。歴史的事実がおこった社会的背景を十分に理解した上で自分の考えをつくり、意見交流をすることで自分の考えを深めさせたい。その過程の中で、文章や写真、図などを使い、レポートすることで言語活動の充実を図りたい。

5 単元の指導と評価の計画（7時間扱い）

時	学習内容	評価の観点				評価	
		関	思	資	知	評価規準	方法
1	第一次世界大戦とロシア革命	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の原因・経過結果から戦争の概要を理解している。 日本の立場やロシア革命について国際状況を考えている。 	発表 ワークシート
2	国際協調の高まり		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> 大戦後に高まったデモクラシーの動きを各国ごとに比較して表現している。 世界平和と国際協調を唱えた国際連盟の特色を理解している。 	発表 ワークシート
3 4 (本時)	アジアの民族運動		◎	○		<ul style="list-style-type: none"> アジアの民族運動の実況原稿をつくることで、当時の人々の心情や国際的な状況を結び付けて考えている。 複数の資料から、アジアの民族運動について当時の様子を読み取っている。 	発表 ワークシート
5	大正デモクラシー			○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 大正デモクラシーについて護憲運動や普通選挙の実現を通して理解している。 資料を参考にデモクラシーや自由主義の主張について現代と比較している。 	発表 ワークシート
6	広がる社会運動	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> 護憲運動などの影響を受け、多くの民衆運動が盛んになったことを理解している。 女性差別について現代と比較しながら考えている。 	発表 ワークシート
7	都市化と大衆文化			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 文化の大衆化に自分の考えをもち、大正期の教育と文化について理解している。 資料から、関東大震災の概要と市民生活の変化について調べている。 	発表 ワークシート

6 本時の学習

(1) 目標

アジアの民族運動の実況原稿をつくることで、当時の人々の心情や国際的な状況を結び付けて考えることができる。
(社会的な思考・判断)

(2) 本時における言語活動を充実させるための手立て

アジアにおける民族運動の実況原稿をつくることで、歴史的背景がもたらした史実の根拠と当時の人々の心情を考えながらレポートをつくり、学び合いができるように工夫する。

(3) 準備・資料

ワークシート・写真資料・レポート原稿・資料集

(4) 展 開

(◎は言語活動を充実させるための手立て)

学 習 活 動・内 容	支 援 と 評 価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アジアの民族運動を実況中継しよう！</p> <p>2 グループごとにアジアの独立運動を調べる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">調べる視点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 支配されている国のこれまでの歩み・ 支配されている国の人々の心情・ 支配している国の政策・ 写真・資料から読み取れること (雰囲気・人々の声・場所・聞こえてくる音など) <p>(1)韓国グループ 3・1独立運動, 韓国併合, 柳寛順</p> <p>(2)中国グループ 5・4運動, 抗日運動, 孫文</p> <p>(3)インドグループ(ガンディーの独立運動中心) ガンディー, 非暴力・不服従, 塩の行進</p> <p>(4)日本グループ(アジアでの植民地政策中心) ベルサイユ体制, 21か条の要求, 柳宗悦</p> <p>3 各国の民族運動を実況中継して伝え, 学ぶ合う。</p> <p>(1)民族運動レポート</p> <p>①韓国グループ 3・1独立運動, 韓国併合, 柳寛順</p> <p>②中国グループ 5・4運動, 抗日運動, 孫文</p> <p>③インドグループ ガンディー, 非暴力・不服従, 塩の行進</p> <p>④日本グループ ベルサイユ体制, 21か条の要求, 柳宗悦</p> <p>(2)各国の民族運動の独自性や共通性についてワークシートに記入する。</p> <p>(3)「民族運動なぞかけ」をつくる</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">例「アジアの民族運動」とかけて「ジャイアン」ととく, その心は「こわいものは親」 <その理由>○○○だからです。</p> <p>4 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 日本と韓国の意識調査の結果を提示することで, 両国の認識の違いを明らかにし, なぜこのようなことがおこるのか疑問をもたせる。・ 一人一人がレポーターとなり, タイムスリップをして当時の様子を伝える設定であることを確認する。・ 個人で考えることが難しい生徒は, グループリーダーとともに学習が進められるようにあらかじめ指導しておく。・ 韓国では3・1独立運動, 中国では5・4運動, インドはガンディーを中心とした民族運動の高まりの様子を資料から読み取るため, あらかじめ資料は精選しておく。・ 国ごとに支配する側, 支配される側の視点を盛り込んで実況レポートすることを押さえて活動を開始させる。・ 日本グループには柳宗悦を紹介し, 日本の中にも韓国独立を支持した人がいたことを知ることで, 見方が一つではないことを気付かせてレポートできるようにする。・ 韓国の柳寛順という自分たちと同じ年代の少女の独立運動への取り組みを知ること, 当時の人々の願いを感じ取れるようにする。・ 写真や資料を使って, 当時の人々の気持ちや考えを盛り込んで実況中継をつくるように助言する。 <p>◎教師が意図した4人程度のグループになり, 各国の民族運動の様子を伝え合えるようにする。</p> <p>◎質疑がある場合は, 全員が発表し終わった後に行うようにあらかじめ説明しておく。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各国の代表が全体に発表し, メモを取りながら学習できるようにする。・ 民族運動の独自性や共通性についてまとめられない生徒はグループで助け合いながらまとめるように声をかける。・ ワークシートがまとまっている生徒を賞賛し, 自信をもって発表するよう促す。 <p>◎早く終わった生徒は, これまでの知識を使い「民族運動なぞかけ」に取り組めるように配慮する。</p> <p>㊦アジアの民族運動の実況原稿をつくることで, 当時の人々の心情や国際的な状況を結び付けて考えている。</p> <p style="text-align: center;">(思考・判断)【発表・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大正デモクラシーが唱えられ, 民主主義の時代が到来したことを知らせる。